

誰もがその人らしく 安心して暮らせる 福祉のまちづくり



多良木町社協だより



地域のふだんのくらしの幸せづくり活動のご紹介

福祉（ふくし）の意味を、ふ（ふだんの）・く（くらしの）・し（しあわせ）と例えられる事があります。お隣、近所、住んでいる区内など地域のふだんのくらしを幸せに、豊かにする活動（地域福祉活動）が、今、多良木町でこれまでになく、盛んに取り組まれています。そこで、今回は活動の内容や、町内各地で実際に行われている活動をご紹介します。

社会法人 多良木町社会福祉協議会 平成25年11月28日発行

〒868-0501 熊本県球磨郡多良木町大字多良木1571番地1 ☎(0966)42-1112 FAX(0966)42-1113

ふれあいネットワーク



福祉活動が大切なのか？

▲多良木1区の1(左上)、多良木1区の2(左下)、多良木2区の1(右上)、多良木2区の2(右下)

昔は「おたがいさま」といふた地域の助け合い。暮らしは支えられてきました。隣組などの歌詞にもあるように・・・しかし、戦後の高度成長の中で若い人は会社に働きにでたり、都会に行き田舎へ帰つて来ないなどから、「おたがいさま」で行われてきた「福祉」の多くは、地域に代わつて、少しずつ公的な福祉サービス^{※1}で行われるようになりました。特に平成になると、高齢者や障がい者福祉分野で整備が進められ、介護保険法や障害者自立支援法（改正後：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）に基づく公的な福祉サービスは、質や量とも飛躍的に充実しました。

しかし、地域には、サービスや制度の谷間にあつて対応できない困りごとや、福祉に対する多様な要望や希望について、全て公的な福祉サービスだけで対応するのが不可能なこ



▲多良木3区の1

とや、適切ではない部分もあることが明らかになつてきました。また、介護が必要な親と障がいをもつ子どもがいるなどの複数の支援が必要な世帯やホームレスの方など社会から孤立しやすい立場もあり、従来の公的な福祉サービスでは十分に対応できない問題もあります。さらに、専門的な対応を必要とする福祉の困りごとが近隣住民によつて発見されても、専門の機関へつながつていくまで時間が



▲多良木5区の1(左上)、多良木6区の1(左下)、多良木6区の2(右上)、多良木6区の3(右下)

かかり対応が遅れてしまうという、制度利用をはじめるまでの問題もあります。

一方で地域社会や意識の変化が進み、終戦後のベビーブームに生まれた世代（いわゆる「団塊の世代」）が退職年齢に達し、多くの人が職場から地域での生活が中心となり、第二の人生で地域への貢献をしたいという要望は高まってきています。このようなことから地域住民の皆さんのが主役となり福祉に参加することで、住み慣れた地域でこれまでの関係を維持しながら、その人らしくより豊かな生活につながることが期待されています。

地域は、隣近所の関係の中で、それぞれの住民が自分らしい生き方をしていく場であり、歳をとつても、障がいがあつても、住み慣れた地域で自分らしい生き方を全うできることが、その人の尊厳を支えることになります。その意味で、地域の生活上の課題に取り組んで



▲多良木7区の1



▲多良木8区の1



▲多良木8区の2(上)、多良木9区の1(下)



※1 公的な福祉サービス（デイサービスやホームヘルパー、特別養護老人ホーム、障害者自立訓練等の各制度に基づくサービス）

いくことは、取り組む側だけではなく、お手伝いされる側も地域の中の一人として、尊ばれる生活ができるようになります。

こうした中で、福祉の方を考える時に、公的な福祉サービスの充実と整備を図るとともに、地域における身近なお困りごとに対応する、新しい「おたがいさま」の助け合いを進めるための地域福祉の役割を考えることが大切になってきています。



▲多良木9区の2



▲多良木10区の1

「おたがいさま」の助け合いとして 新たに町内の行政区で取組まれている 地区社協といきいきサロンとは？

地区社会福祉協議会（地区社協）もいきいきサロンも地域での支え合いを進めるための仕組みになります。

まず、地区社協は行政や町社協などとの連携を保ちながら、住んでいる行政区の中にある様々な福祉のお困りごとの解決のために住民の皆さんのが積極的に活動に参加することによって、地域の中の助け合いを育て、お困りごとを解決する活動のことです。

いきいきサロンは、行政区内の拠点に住民の皆さんのが主役となって、定期的に交流やふれあいの場を設ける仲間づくり、生きがいづくりを目的としています。

地区社協は行政区を一つの活動の単位としていますが、いきいきサロンは、行政区の中の一つの集まり・組織になります。（図1参照）

いきいきサロンだけではなく地域にはたくさんの組織や集まりがあります。

いきいきサロンはその様な組織や集まりの中のひとつです。

（今回〇は、いきいきサロンの説明のために、老人クラブと合わせて大きくしています。）

いきいきサロンと老人クラブの対象者は重複します。

行政区ごとで重なり方は違っています。



は行政区=地区社会福祉協議会

（地区社協は行政区全体の福祉を考える団体になります。）

このように地区社協は行政区全体の活動になり、いきいきサロンについては地区社協内の集まりになります。活動を行っていただくときは、地区社協の活動=いきいきサロン活動ではないことにご注意ください。

地区社会福祉協議会活動とは?



▲多良木11区の1

地区社協は、地域に住むすべての人がいつまでも住み慣れた地域で元気で安心して暮らせる福祉の地域づくりを目的としています。地域住民の皆さんのが、知恵と力を出し合い地域ぐるみで推進します。

実施主体は行政区単位で区長さんや老人クラブ会長さん、民生委員さん、子ども会長さん、婦人会長さん、健康応援隊さん他、各組織や集まりの代表を中心として運営します。また、活動については、地域の実情に応じて福祉が推進される活動を行います。

具体的活動として

①小地域見守ネットワーク活動

(近所、隣保班などで、日常の生活上で出来ること「朝夕のあいさつや、回覧(地域の行事に福祉的な意味合いをプラ板を回す時に体の調子を聞くなど)」と、何かあつたかな?と思った時は連絡し



②ふれあいきいきサロン活動

(公民館等で定期的な交流やふれあいの場をつくる活動です。月に1度程度開催していただき、その活動や対象者などについて自由です。)

③地域の楽しい交流や ふれあいの場づくり

(地域の行事に福祉的な意味合いをプラスして実施してください。)